

サイエンスカフェの御案内

日 時 : 平成28年1月22日(金) 19:00~20:30

場 所 : 文部科学省情報ひろばラウンジ(旧庁舎1階)

東京都千代田区霞が関3-2-2

主 催 : 日本学術会議、文部科学省

テ ー マ : 食の安全を考える: 魚介類中のメチル水銀を例として

講 師 : 佐藤 洋さん 内閣府食品安全委員会委員長

ファシリテーター: 那須民江さん 日本学術会議会員、中部大学生命健康科学部教授、名古屋大学名誉教授

内 容 : 食品は安全なものであると一般的には考えられているが、必ずしもそうではない。例えばジャガイモのソラニンが有害物質で、大量に食べれば健康被害が起きる。BSE(牛海綿状脳症)が発生したことを契機に、食品の安全を確保して、食品の生産・流通を活発・円滑にする仕組みが必要とされ、各国で、リスクアナリシスの考え方に基づいた現在の仕組みが再構築された。

リスクアナリシスは、リスク評価、リスク管理、リスクコミュニケーションの三要素からなる。食品の安全性を科学的に評価するのがリスク評価、関係者と協議しながら、安全に食べられるよう適切に対応するのがリスク管理である。我が国では、食品安全委員会がリスク評価、厚労省や農水省がリスク管理を担当し、リスクコミュニケーションは、消費者や生産者も交えて意見交換をする場とされている。

魚介類中のメチル水銀は、食品安全委員会の初期にリスク評価されて、比較的水銀を多く含む魚種の摂食の頻度に関し、厚労省から注意喚起が出されリスク管理が具体化された。これを例として、食品の安全について考えてみたい。



【参加方法】

事前申し込みでの受付となります。

「氏名」及び「1月22日サイエンスカフェ参加希望」と書いたEメールをsciencecafe@devotion-japan.comあてにお送り下さい

【参加費】 無料 【定員】 30名

【アクセス】

銀座線「虎ノ門駅」11番出口 直結

千代田線「霞ヶ関駅」A13番出口 徒歩5分

<http://www.mext.go.jp/joho-hiroba/access/index.htm>